

## 地区勉強会での意見内容について

犬若地区（平成 27 年 8 月 20 日）

質問・意見	今後の対応等
所管が違うというが、外川漁港とは一体で防災対策を考える必要がある。土木事務所と漁港事務所と一緒に協力して対策検討するべきではないか。	原案は、名洗港エリアの津波対策効果を早期に発現させる為、名洗港エリア単独で対策した場合の案としましたが、今後、外川漁港の検討が進んだ段階で犬若地区の接続部については再度意見を伺いたい。
防護ラインとしての道路のかさ上げは道路通行上の安全性の低下につながるのではないか。	今後、道路嵩上げの必要が生じた場合は、勾配などについて十分に検討を行い、安全性に配慮していく。
2 工区の 2.8m の防潮堤整備では海が見えなくなるし景観が悪化する。背後の道路自体を嵩上げすれば良いのではないか。	背後地工場関係者の車両の出入りに支障となるため、背後道路嵩上げは困難であるが、嵩上げした管理用通路（遊歩道として利用）設置を計画することとした。

名洗マリーナ・潮見町地区（平成 27 年 8 月 26 日）

質問・意見	今後の対応等
名洗港防波堤の嵩上げにより、防潮堤の嵩上高を低減できないか。	防波堤の嵩上げにより、マリーナ域での被害軽減はある程度期待できるが、全域を守れる程の効果は無く、陸地での「防潮堤」は必要となってしまう。
防潮堤を整備しない箇所（2 工区）では、津波避難タワーの整備を検討しないのか。	当該地区では背後地に高台があり津波発生後の避難が可能であるため検討しない。
2 工区の臨港道路は通学・散歩などの利用者が多い。人命・財産を守るために防潮堤の必要性は理解できるが景観に十分配慮して欲しい。利用者から海が見えるよう防潮堤に遊歩道・自転車道を整備できないか。	防潮堤の管理用通路に階段を設置し、海の状況確認や遊歩道的な使用ができるよう検討した。
他海岸も名洗港の防潮堤同様に整備していくのか。	観光名所である君ヶ浜海岸は浸水予測範囲が道路・駐車場・保安林であるため、防潮堤を整備しない案も考えている。西明・君ヶ浜海岸は別途勉強会を開催し地域住民・関係団体の意見を反映させていく。

名洗町地区（平成 27 年 8 月 30 日）

質問・意見	回答・今後の対応等
工事用車両はどこから入ってくるのか。	具体的な内容については、詳細検討時に安全対策・周辺対策を考慮しつつ検討していく。
防潮堤嵩上げにより海が見えなくなるのか。	現状より高い壁が出来るので、海が見えづらくなる箇所はでてしまう。海浜へのアクセスは既設階段の嵩上げなどで対応する。
近年、砂の堆積が顕著であり、津波浸水に影響があるのではないか。	沖合の大規模な地形変化であれば影響があるが、離岸堤付近までの堆積であれば、大きな影響はない。浸水予測範囲は経年変化の堆砂までは考慮しておらず、計算には誤差・限界があることを認識していただきたい。
小畑川河口部の蓋（フラップゲート）は津波襲来時に操作する必要があるのか。	津波襲来時に操作する必要はない。